



シャッターオイル

—注意点、使用方法—

発行年月	2024年3月
手順書 No.	06062
品番	211104802

■ 火気と高温に注意

- ・ 高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため、下記注意を守ってご使用下さい。
 1. 炎や火気の近くで使用しないでください。
 2. 火気を使用している室内で大量に使用しないで下さい。
 3. 高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や火気等の近くなど温度が40℃以上となる所に置かないでください。
 4. 火の中に入れてください。

■ 使用方法

- ・ キャップを外し、ボタンを押すと液が直線状に噴出します。

■ 使用上の注意

- ・ 人体に向けて使用しないでください。
- ・ 吸入すると人体に害があるので、換気の良い所で使用してください。
- ・ 乳幼児の手の届く所に置かないでください。
- ・ 住宅用の窓に付いているシャッター（窓シャッター）には使用しないでください。

■ 応急処置について

- ・ 目に入った場合は清水で十分に洗浄し、医師の手当てを受けてください。
- ・ 飲み込んだ場合は、無理に吐かせずに、ただちに医師の手当てを受けてください。

■ 保管上の注意

- ・ 破裂する危険がありますので、40℃以上になる所や自動車内に置かないでください。
- ・ 直射日光の当たる所や、ファンヒーターなどの暖房器具や加熱源の周囲は、温度が上がり破裂する危険があるので、置かないでください。
- ・ 缶の錆による破裂を防ぐために、水回りや湿気の多い場所に置かないでください。

■ 廃棄上の注意

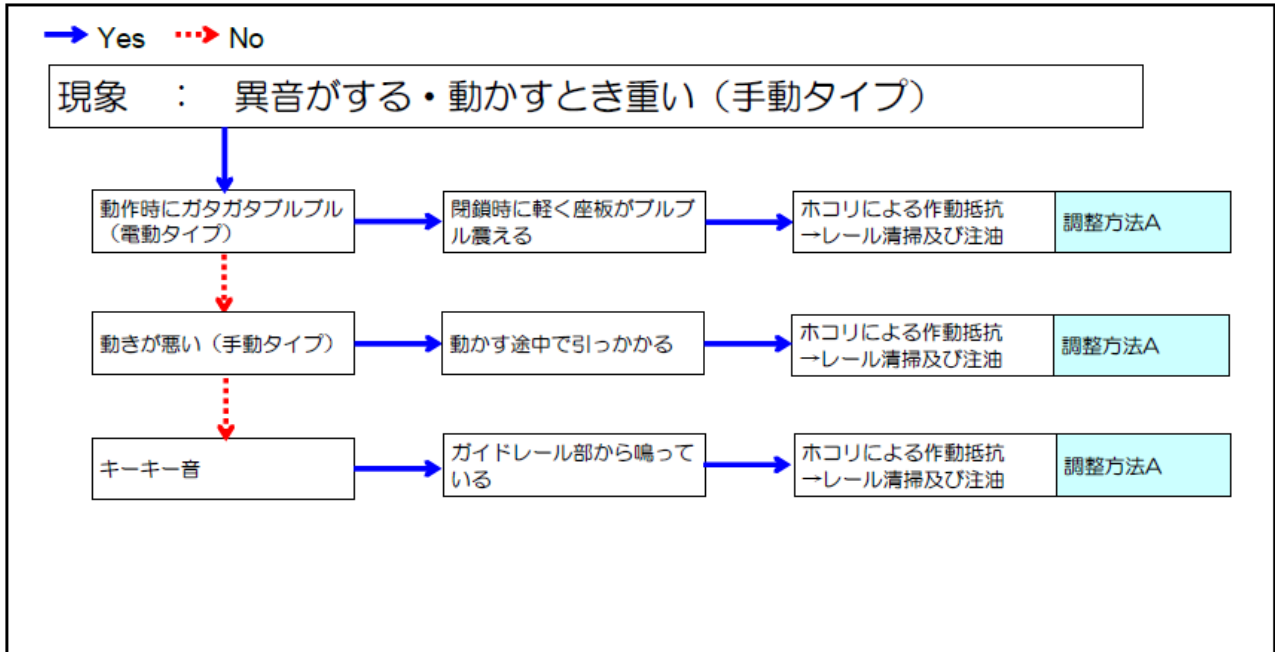
- ・ 廃棄の際は中身を使い切ってから、火気のない戸外でボタンを押し、ガスを完全に抜いてから捨ててください。

シャッターオイル

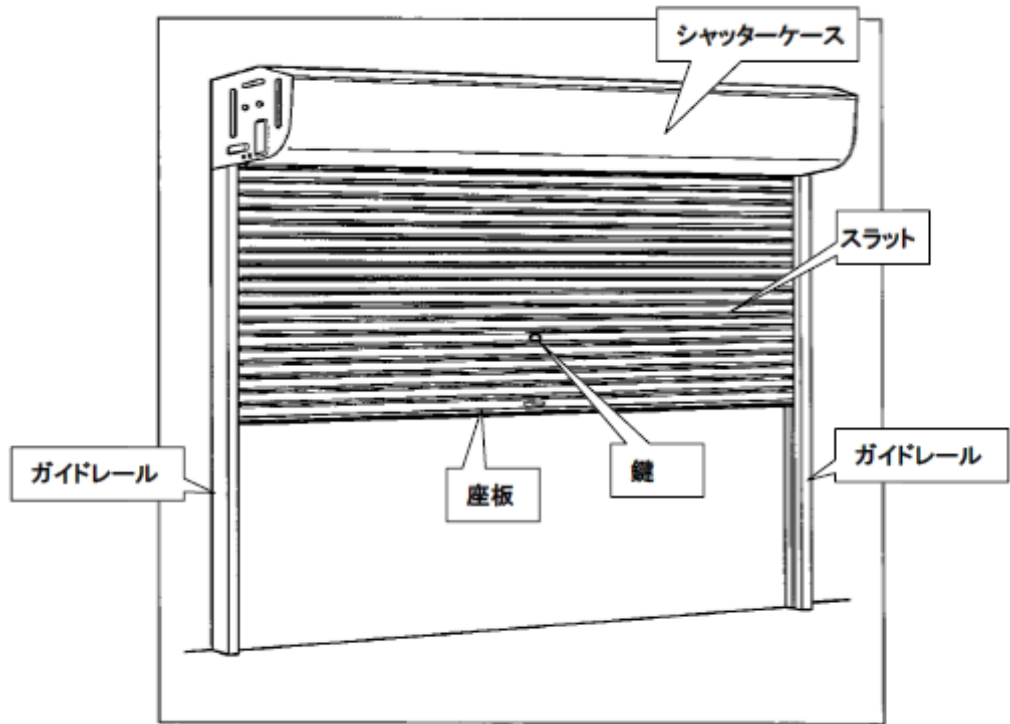
— 注意点、使用方法 —

発行年月	2024年3月
手順書 No.	06062
品番	211104802

■ シャッターメンテナンス方法（住宅用の窓に付いているシャッター以外）



■ シャッター各部の名称

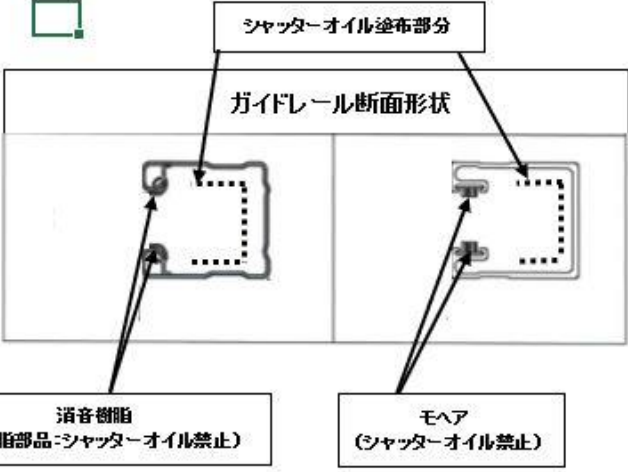


シャッターオイル

—注意点、使用方法—

発行年月	2024年3月
手順書 No.	06062
品番	211104802

■ シャッターメンテナンス方法（住宅用の窓に付いているシャッター以外）

調整方法A	ガイドレールの清掃
<p>ガイドレールが汚れていると作動抵抗となり、異音や作動不良の原因となります。 ガイドレールの内部の汚れを取り、サンワシャッターオイルを所定の部分にスプレーすると動きがスムーズになります。</p>	
 <p style="text-align: center;">シャッターオイル塗布部分</p> <p style="text-align: center;">ガイドレール断面形状</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> 消音樹脂 <small>（樹脂部品：シャッターオイル禁止）</small> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> モヘア <small>（シャッターオイル禁止）</small> </div> </div>	<ol style="list-style-type: none"> ① ガイドレールの内部にゴミやほこり等が詰まっている場合は取り除きシャッターオイルスプレーを吹きかけてください。 ※消音樹脂やモヘアにシャッターオイルがかからないように注意してください。 ※窓シャッターには使用しないでください ※レール以外にはシャッターオイルをスプレーしないでください。 ② 余分なシャッターオイルを雑きんで拭き取ってください。 <p>※鍵穴にはシャッターオイルは使用しないでください。故障の原因となります。</p>
<p>※ ガイドレールへの注油はシャッターオイルを使用してください。</p> <p>【注】消音樹脂やモヘアにかからないように注意してください。</p> <p>【注】窓シャッター（住宅用の窓に付いているシャッター）には使用しないでください。 上記の【注】部分及び製品にシャッターオイル及びグリスや一般潤滑油の使用は、ホコリが付着すると固まってしまう、かえって動きが悪くなってしまいます。</p>	